

平成31年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

## 日 本 史

受験 番号		氏 名	
----------	--	--------	--

### 注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから10ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の文および資料について、後の(1)～(7)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

鎌倉時代の武士は、河川の近くの微高地を選んで館を構え、周囲には堀・溝や塀を巡らして住んでいた。彼らは相続の際には一族の子弟・女子たちに所領を分け与える(1)を原則としていたが、それぞれは(a)一族の血縁的統制のもとに、宗家(本家)を首長と仰ぎ、活動を広げていった。

支配権を拡大しようとする武士たちは、荘園・公領の領主や、近隣の武士との間で年貢の徴収や境界の問題をめぐって紛争を起こすことが多かった。(b)とくに承久の乱後には、土地の支配権をめぐる紛争はますます拡大し、幕府は公正な裁判制度の確立に努力した。

地頭の支配権拡大の動きに直面した荘園・公領の領主たちも、幕府に訴えて地頭の年貢未納などの動きを押さえようとした。しかし、現地に根を下ろした(c)地頭の行動を阻止することはしだいにできなくなった。

室町時代の農業では、肥料に刈敷・草木灰などととも(2)が広く使われるようになった。また手工業の原料として、苧・桑・楮・漆・藍・茶などの栽培も盛んになり、年貢の銭納の普及と農村加工業の発達により、これらが商品として流通するようになった。

室町時代には、農民の需要にも支えられて地方の産業が盛んになり、各地の特色を生かしてさまざまな特産品が生産されるようになった。地方特産品としては加賀・丹後などの絹織物、美濃の美濃紙、(d)播磨の杉原紙、越前の鳥の子紙などが有名であった。

特産品の売却や、年貢の銭納に必要な貨幣獲得のため、地方の市場もその数と市日の回数を増していき、六斎市が一般化した。また、連雀商人や振売と呼ばれた行商人の数も増加していった。京都などの大都市では(3)を構えた常設の小売店が一般化し、京都の米場・淀の魚市などのように、特定の商品だけを扱う市場も生まれた。

手工業者や商人の(e)座もその種類や数が著しく増え、全国的な活動をみせた座もあった。

貨幣は、従来の宋銭とともに、新たに流入した永楽通宝などの明銭が使用されたが、(f)幕府・戦国大名などは撰銭令をしばしば発布した。

資料A

- (1) 空欄( 1 )～( 3 )に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部(a)について、戦時の武士の一族の行動を、宗家の首長が何と呼ばれていたかを明確にして、簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部(b)について、承久の乱後に、土地の支配権をめぐる紛争が拡大した理由を、「地頭」という語を用いて簡潔に説明せよ。
- (4) 下線部(c)について、地頭の行動を阻止することができなくなった荘園・公領の領主たちが紛争解決のために行った方法について、資料Aを参考に、簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(d)について、解答欄の例にならい、「播磨」と「越前」の国の位置を、解答用紙にそれぞれ示せ。
- (6) 下線部(e)について、中世の座の仕組みについて説明するための板書例を解答欄に加筆して完成させよ。
- (7) 下線部(f)について、撰銭令が発布された背景と目的を簡潔に説明せよ。

2 次の資料A～Fについて、後の(1)～(8)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

資料B

資料C

資料D

資料E

資料F

- (1) 資料Aは1946(昭和21)年に、岩宿遺跡の調査で確認された石器である。この発見をきっかけとして、歴史的に明らかになったことは何か、簡潔に説明せよ。
- (2) 資料Bについて、この詔の名称を答えよ。
- (3) 資料Bが発せられた目的を、当時の社会情勢について触れながら簡潔に説明せよ。
- (4) 下線部(a)について、天下の民が苦しんでいる理由を、軍事と造作の内容を明らかにして簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(b)について、具体的には誰のことか、人物名を答えよ。
- (6) 資料Dについて、2回にわたる元の襲来を経て、当時の幕府は西日本一帯に勢力を強めていった。その背景について簡潔に答えよ。
- (7) 下線部(c)について、拡大された守護の権限のうち、刈田狼藉を扱う際、どのような点に留意するか、刈田狼藉の内容とともに簡潔に答えよ。
- (8) 資料Fを用いて、太閤検地について生徒の理解を深めたい。資料Fから生徒に読み取らせたことは何か、簡潔に説明せよ。

- 3 次の資料A～Dについて、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

資料B

資料C

資料D

- (1) 空欄( 1 )～( 4 )に当てはまる語を答えよ。
- (2) 下線部(a)の「郡司」に関して、「郡」をめぐって論争が行われてきた。どのような論争か、簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部(b)について、口分田の支給を受けた者が死亡した場合、口分田はどのように処理されるか、簡潔に答えよ。
- (4) 資料Cの法令の発布から初期荘園の発生までの過程について、簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(c)を設置した人物は誰か、答えよ。
- (6) 下線部(d)について、受領と遙任の違いが明確になるように、簡潔に説明せよ。

- 4 次の文は「高等学校学習指導要領」(平成21年3月告示)の日本史Bの一部である。後の問いに答えなさい。

3 内容の取扱い

- (1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。

ア 我が国の歴史と文化について各時代の(ア)環境や(イ)的條件などに関連付け、世界の中の日本という視点から考察させること。

- (1) 空欄(ア)・(イ)に当てはまる語を答えよ。

5 次の文について、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。

江戸時代になると、幕府によって各地の城下町をつなぐ全国的な街道が完成した。(a)五街道は江戸の( 1 )を起点とする幹線道路として幕府の直轄下におかれ、脇街道と呼ばれる主要な道路も全国で整備された。一方、河川の舟運は17世紀の初めから整備された。京都の豪商( 2 )が鴨川・富士川を整備し、また高瀬川などを開削して水路を開いた。海上では17世紀後半になると、江戸の商人( 3 )が東廻り海運・西廻り海運のルートを整備した。

明治時代になると、海運では土佐藩出身の岩崎弥太郎が経営する三菱に政府が手厚い保護を与えた。また、海運業奨励政策に助けられた(b)日本郵船会社などがつぎつぎと遠洋航路を開いていった。陸上では1872年に新橋・横浜間、ついで神戸・大阪・京都間にも鉄道が敷設された。1881年に設立された日本鉄道会社が成功したことから、商人や地主らによる会社設立ブームがおこった。その結果、1889年には営業キロ数で民営鉄道が官営鉄道を上回ったが、1906年に、( 4 )内閣は鉄道国有法を公布し、民営鉄道を買収して国有化した。

大正時代になると、第一次世界大戦による、世界的な船舶不足のために、海運業・造船業は空前の好況となり、日本は世界第3位の海運国となり、いわゆる( 5 )が続々と生まれた。第一次世界大戦後は、( 6 )の総裁原敬を首班とする内閣が成立すると、地方路線の敷設に力を注いだ。

戦後の鉄道は電化が全国的に進み、1964年には東京から新大阪の間に( 7 )が開通して高速輸送時代を迎えたが、国鉄財政はこの年から単年度で赤字となった。そして1982年に発足した( 8 )内閣は「戦後政治の総決算」を唱えて行財政改革を推進し、国鉄は民営化された。

- (1) 空欄( 1 )～( 8 )に当てはまる語を答えよ。ただし、( 2 )～( 4 )及び( 8 )は人物名とする。
- (2) 下線部(a)について、次の①、②の問いに答えよ。
  - ① 江戸時代の中山道について、地図を示して現在のどの都府県を通過していたのかを生徒に理解させたい。解答用紙の白地図に当時の中山道の経路(江戸・草津間)を記入し、地図を完成させよ。なお、白地図中の■は、関所を表している。
  - ② 街道の様子を伝える資料を用いて生徒の関心を高めたい。あなたが提示したい資料を1つ挙げ、その資料を取り上げる理由も含めて簡潔に説明せよ。
- (3) 下線部(b)について、1893年にボンベイ航路が開設された。この航路が開設された目的を、当時の紡績業の状況を踏まえて簡潔に説明せよ。

- 6 次の資料A～Cについて、後の(1)～(3)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

資料A

資料B

資料C

- (1) 資料Aについて、次の①、②の問いに答えよ。
- ① 資料Aの筆者は誰か、答えよ。
  - ② ①の人物が理想とする社会について、資料Aを参考にして、簡潔に説明せよ。
- (2) 資料Bについて、次の①、②の問いに答えよ。
- ① 資料Bは「中央公論」に掲載された論文である。この論文の筆者は誰か、答えよ。
  - ② 資料Bにある民本主義と民主主義との違いについて、簡潔に説明せよ。
- (3) 資料Cについて、次の①、②の問いに答えよ。
- ① 資料Cの学説を唱えていた人物は誰か、答えよ。
  - ② 資料Cの学説の内容を、生徒に読み取らせたい。以下の書き出しに続けて説明する文を完成させよ。

「統治権の主体は



- 7 次の文および資料について、後の(1)～(6)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めたりした部分がある。)

(a)この人物は文久元年に高崎藩の江戸藩邸で生まれた。高崎藩士五十石取りの家であった。官吏となった父に従い、幼少時は石巻ほかで育った。明治四年に高崎に戻り、(b)明治十年、札幌農学校に二期生として入学した。翌年宣教師より洗礼を受け、級友と熱心な信仰生活を営んだのち明治十四年主席で卒業すると、北海道開拓使御用掛となり、北辺の海域で水産調査開発に努めた。明治十六年に辞職し、渡米してアーモスト大学で学び、卒業した。帰国後は新潟北越学館の仮教頭として赴任したが、たちまち学校当局と衝突し辞任した。明治二十三年に第一高等中学校嘱託となったが、翌年不敬事件をおこして解職された。その後明治二十六年まで、大阪・熊本・京都を転々とし、京都で著述に没頭した。明治三十年に「万朝報」の英文主筆に迎えられて東京に戻った。(c)明治三十三年に「聖書之研究」を創刊した。これはわが国最初の聖書研究誌である。生涯聖書そのものの研究を通じてその真理性を明確にし、そうすることにより社会評論を試み、無教会主義の立場を鮮明にしたのである。(d)日露戦争では資料Aを唱えて注目を浴び、平和思想に徹しこれを主張した。しかし彼の意図に反して大正三年、(e)第一次世界大戦が勃発した。一方明治四十年ごろより聖書を講じて、無教会主義を奉ずる彼独自の日曜集會に発展させた。(f)昭和五年、没した。

資料A

資料B

- (1) 下線部(a)の人物とは誰のことか、答えよ。
- (2) 下線部(b)について、この年に開催された第1回内国勸業博覧会を主催した省を答えよ。
- (3) 下線部(c)について、台頭してきた社会主義・労働運動・農民運動を抑えるために、この年に出された法令名を答えよ。
- (4) 下線部(d)に関して、日露戦争前後の国内の世論対立の内容を授業で考察させたい。資料A以外に具体的な資料名を一つあげて、どのような点に留意して考察させるか、簡潔に説明せよ。
- (5) 下線部(e)について、次の①、②の問いに答えよ。
  - ① 資料Bは第2次大隈重信内閣の外務大臣の発言である。この外務大臣は誰か、答えよ。
  - ② 資料Bの空欄( )に当てはまる国名を答えよ。
- (6) 下線部(f)の年に日本経済が深刻な恐慌状態に陥った背景について、世界的な状況と国内の経済政策を踏まえて簡潔に説明せよ。

8 次の資料A～Gについて、後の(1)～(4)の問いに答えなさい。(資料は一部省略したり、書き改めしたりした部分がある。)

資料A 幕領の総石高 (1000石以下は切り捨て)

(角川書店「日本史辞典」より作成)

資料B 国税収入の変遷

(「日本経済統計総観」などより作成)

資料C

資料D 東京朝日新聞 (1933年2月25日)

資料E 外国為替相場の推移  
(1ドルにつき円 年末現在)

資料F 公定歩合の推移

(「近現代日本経済史要覧」より作成)

(「数字で見る日本の100年」より作成)

資料G 日経平均株価と6大都市市街地価格指数の推移  
(6大都市は東京(23区)・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸)

(「近現代日本経済史要覧」より作成)

- (1) 資料Aから読み取れることを、当時の施策に着目して、簡潔に説明せよ。
- (2) 国税収入の変遷について、資料Bから読み取れることを、簡潔に説明せよ。
- (3) 資料CとDを踏まえ、日本が国際的に孤立していく過程について簡潔に説明せよ。
- (4) 1980年代後半から1990年代初頭にかけての日本経済の状況について、資料E～Gに着目して、簡潔に説明せよ。

科目	日本史 解答用紙	2枚中の1	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(31年)

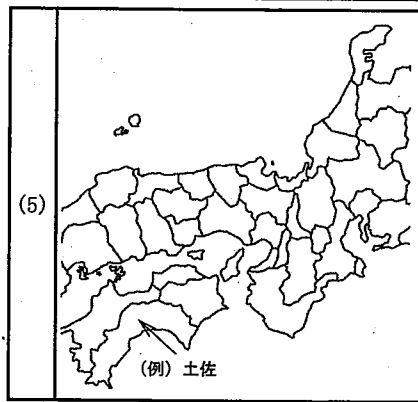
1

(1)	1		2		3	
-----	---	--	---	--	---	--

(2)

(3)

(4)



(6)

中世の座

座	座	衆
---	---	---

(7)

2

(1)

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

(7)

(8)

3

(1)	1		2		3		4	
-----	---	--	---	--	---	--	---	--

(2)

(3)

(4)

(5)

(6)

4

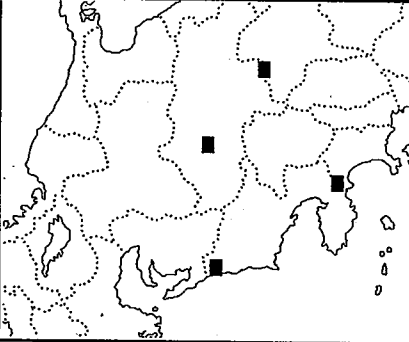
(1)	ア		イ	
-----	---	--	---	--

科目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験番号		氏名	
----	----------	-------	------	--	----	--

(31年)

5

(1)	1	2	3	4
	5	6	7	8

(2)	①		②	
			(3)	

6

(1)	①		②	
(2)	①		②	
(3)	①		②	

7

(1)		(2)		(3)	
(4)				(6)	
(5)	①		②		

8

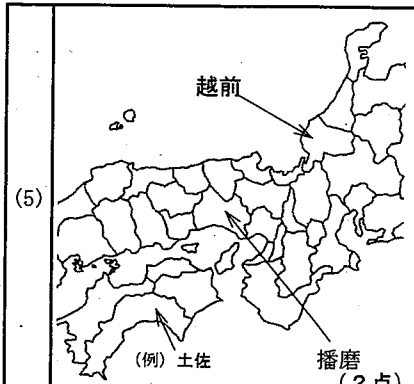
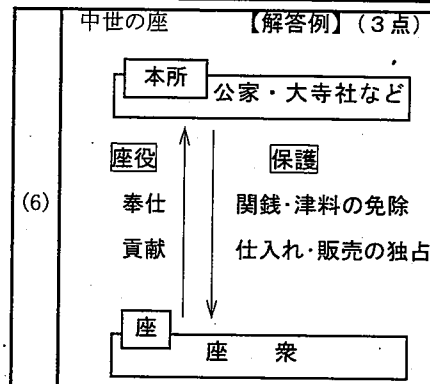
(1)	
(2)	
(3)	
(4)	

以下はあくまでも解答の一例です。

科 目	日本史 解答用紙	2枚中の1	受験 番号		氏 名	
--------	----------	-------	----------	--	--------	--

(31年)

1

(1)	1 分割相続 (1点)	2 下肥 (1点)	3 見世棚(店棚) (1点)
(2)	【解答例】 戦時には、一族は惣領を中心に団結して戦った。(2点)		
(3)	【解答例】 畿内・西国地方にも多くの地頭が任命され、東国出身の武士が各地に新たな所領をもつようになったから。(2点)		
(4)	【解答例】 現地の土地の相当部分を地頭にわけ与え、相互の支配権を認めあう下地中分の取決めを行った。(3点)	(5)	
(6)	(7)	<p>【解答例】 需要の増大とともに粗悪な私鑄銭も流通するようになったので、通貨取引の円滑化を狙ったから。(2点)</p>	
(6)	<p>中世の座 【解答例】(3点)</p> 		

2

(1)	【解答例】 日本列島には旧石器時代が存在しないと考えられていたが、岩宿遺跡の調査により、旧石器時代の存在が明らかとなった(3点)		
(2)	【解答例】 国分寺建立の詔(1点)	(3)	【解答例】 政治情勢や飢饉・疫病などによって社会が不安定になったことから、仏教のもつ鎮護国家の思想によって国家の安定を図ろうとした。(2点)
(4)	【解答例】 蝦夷との戦争と平安京の造営は国家財政や民衆にとって大きな負担となったから。(3点)		
(5)	【解答例】 桓武天皇(1点)	(6)	【解答例】 九州地方の御家人を異国警固番役に動員し、御家人以外の全国の荘園・公領の武士をも動員する権利を朝廷から獲得した。(2点)
(7)	【解答例】 田地を巡る紛争の際、自分の所有権を主張して稲を一方向的に刈り取る実力行使を取り締まる権限である点に留意する。(2点)		
(8)	【解答例】 6尺3寸の検地竿を使用、300歩を1反とした、京枡を使用するなど面積・容量の統一を行った。(3点)		

3

(1)	1 屯倉 (1点)	2 田荘 (1点)	3 二段 (1点)	4 養老七年 (1点)
(2)	【解答例】 藤原宮跡から出土した木簡により、701年以前の大宝律令施行以前は地方行政単位の「郡」は「評」と記されていたことが確認されたので、詔の書き換えをめぐって論争となった。(2点)			
(3)	【解答例】 6年ごとの班年に収公された(2点)			
(4)	【解答例】 東大寺などの大寺院は、広大な原野を独占し、国司や郡司の協力のもと付近の農民や浮浪人らを使用して灌漑施設を作り、大規模な原野の開墾を行った。(2点)			
(5)	【解答例】 後三条天皇(1点)	(6)	【解答例】 受領は任国に赴く、国司の最上席者をさす。任国の国衙に赴任せず、目代などを派遣して収入を得るのが遙任である。と説明する。(3点)	

4

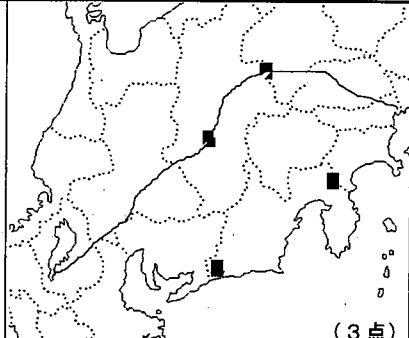
(1)	ア 国際 (1点)	イ 地理 (1点)
-----	-----------	-----------

科 目	日本史 解答用紙	2枚中の2	受験 番号	氏 名
--------	----------	-------	----------	--------

(31年)

5

(1)	1	日本橋 (1点)	2	角倉了以 (1点)	3	河村瑞賢 (1点)	4	西園寺公望 (1点)
	5	船成金 (1点)	6	立憲政友会 (1点)	7	東海道新幹線 (1点)	8	中曽根康弘 (1点)

(2)	①		②	<p>【解答例】 安藤広重（歌川広重）の東海道五十三次を提示する。東海道の宿場町の風景や風俗が描かれていて、当時の街道の状況や行き来する人びとの様子を知ることができるため。</p> <p>(2点)</p>
			(3)	<p>【解答例】 国産綿花は供給不足であり、中国産綿花より安価なインド産綿花を輸入するために、ボンベイ航路を開設した。</p> <p>(3点)</p>

6

(1)	①	安藤昌益 (1点)	②	<p>【解答例】 万人がみずから耕作して生活する自然の世を理想とした。(2点)</p>
(2)	①	吉野作造 (1点)	②	<p>【解答例】 国民主権を意味する民主主義とは一線を画し、天皇主権を規定する明治憲法の枠内で、民衆の政治参加を主張する(民主主義の長所を採用する)思想である。(3点)</p>
(3)	①	美濃部達吉 (1点)	②	<p>【解答例】 (統治権の主体は)法人である国家であり、天皇は国家の最高機関として憲法に従って、統治権を行使する。(3点)</p>

7

(1)	内村鑑三 (1点)	(2)	内務省 (1点)	(3)	治安警察法 (1点)
(4)	<p>【解答例】 東大七博士の意見書などの主戦論の資料を提示し、戦争の意義や見方について、多面的・多角的に考察し、公正に判断するように指導する。(3点)</p>			(6)	<p>【解答例】 1929年にウォール街で始まった株価暴落が世界恐慌に発展しているなかで、1930年、浜口内閣による金解禁が実施されたことにより、日本経済は二重の打撃を受けて、深刻な恐慌状態におちいったと説明する。(3点)</p>
(5)	①	加藤高明 (1点)	②		

8

(1)	<p>【解答例】 徳川吉宗の享保の改革により新田開発を進めた結果、幕領の総石高は増加した。</p> <p>(2点)</p>
(2)	<p>【解答例】 国税収入が増加している、国税の主力であった地租の割合が次第に減少し、酒税・関税などの割合が増していった。</p> <p>(3点)</p>
(3)	<p>【解答例】 国際連盟はリットン調査団の報告に基づき、日本が満州国の承認を撤回することを求める勧告案を採択した。日本全権代表松岡洋右らは総会の場所から退場し、国際連盟から脱退して国際的に孤立していった。</p> <p>(3点)</p>
(4)	<p>【解答例】 1985年のプラザ合意により、ドル高が是正されると、円高ドル安が加速して、輸出産業を中心に不況が深刻化した。しかし、1987年半ばから内需に主導されて景気が回復した。さらに当時の超低金利政策(公定歩合引き下げ)のもとで、金融機関や企業にだぶついた資金が不動産市場や株式市場に流入して、バブル経済が発生した。</p> <p>(4点)</p>